

高次脳機能障害

事故や転落など頭部外傷による脳の損傷によって起こる後遺症として、記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などの認知障害が生じ、社会生活・日常生活の適応が困難となる障害を高次脳機能障害とといいます。

主な症状は...

認知障害

記憶障害：新しいものを覚えられない。同じ事を何度も繰り返し話したり質問したりする。

注意障害：周りに注意が向かない。二つのことを同時にすることが出来ない。など。

遂行機能障害：計画が立てて実行することが出来ない。他者の指示に従わないと出来ない。

半側空間無視：左側のものを見落とす。左側にあるものにぶつかる。食べ物を残す。

病識欠如：病気に対する認識が出来ない。障害が無いかのようにふるまったり、言動を発したりする。

失語：言葉の意味が分からない。話そうとするが言葉が出てこない。文字が読めない。文字が書けない。

失行：動作を目標に沿って行なえない。

失認：視力・聴力・触覚に問題は無いのに対象物を認識することが出来ない。

社会的行動障害

- ・ すぐに人に頼ってしまう。子供のようになる。(依存性・退行)
- ・ 我慢できなくなり何でも欲しがる。お金を無制限に使ってしまう(欲求のコントロール低下)
- ・ 急に怒り出す、泣き出す。突然、暴れだすなどの行為(感情コントロール低下)
- ・ 人間関係を上手く結ぶことが出来ない。人の気持ちをくみ取ることが出来ない(対人技能拙劣)
- ・ 一つのものにこだわると、こだわりを変えることが出来ない。いつまでも同じ事を続ける(固執性)
- ・ 他人に言われないと出来ない。自分では何もしようとしない(意欲・発動性の低下)
- ・ することは分かっているのに、憂鬱な状態が続き何も出来なくなる(抑うつ)
- ・ 些細なことで泣いたり、笑ったりする(感情失禁)

上記のように、高次脳機能障害は様々な症状が出現してきます。身体的には、普通の人と変わらないように見えることがあり、外見からは理解されにくいことがあります。また、職場や日常生活に復帰してから、色々な症状が出現してきて精神的・肉体的・経済的な問題が現れてくることがあります。